



大川技研 本社

- 本社所在地：大分県大分市
- 事業概要：非破壊検査・防食・ライニング・製缶・管工事・機器整備 他
- 従業員数：257人
(グループ全体・2025年4月期)
- 現在の売上高：57億円
(グループ全体・R6年9月期)
- 法人番号：4320001002934
- Web：https://ookawagiken.com

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
北川 大滋

最先端のプラントメンテナンス技術で 業界をリードし社会に貢献する

大川技研は非破壊検査、防食塗装、製缶、管工事、機器設置、機械整備など、多角的なアプローチで顧客の設備保全に貢献する総合技術者集団です。医師が診察・治療を行い、人の健康を保つように、設備にも的確な検査とメンテナンスが必要です。私たちは「設備の総合医」の役割を担い、事業の持続的な拡大を通じて多くのお客様に安心・安全という価値を提供し、社会に貢献し続けることを目指しています。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

当社は持続的な成長を目指して、技術力と事業領域の拡充を目的としたM&Aに取り組んできました。2019年から現在までに5社を傘下に加え、グループ全体で競争力強化と経営効率の向上に取り組んでいます。2032年のグループ売上高100億円達成に向け、グループ間の事業再編や技術連携によるシナジー創出や、さらなるM&Aに取り組み、年率7%程度の成長を目指します。

課題

- ・ 業務プロセスの非効率：属人的な業務が多く、作業の標準化や効率化が十分に進んでいない
- ・ 地理的な制約：拠点は九州地方に集中しており、首都圏や関西など他地域への展開や新規顧客開拓は不十分である
- ・ 人材面の課題：人手不足により業務拡大に必要な人員が不足している。また、100億円という一つ上の成長ステージを目指した行動変容に繋がる従業員の意識改革が必要

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 売上高100億達成に向け、これまでのM&Aによって獲得した技術力と事業基盤を最大限に活用した以下の取り組みを進めます。
- ・ グループ内での事業再編を行い、最適分業を実現
 - ・ 各社の専門技術を連携させたワンストップの保全・検査・施工サービスによる競争力強化
 - ・ 上記を実現する業務効率化や人材育成の取り組み強化
 - ・ 「縦」の連携による事業領域の深化（垂直統合）と、「横」の展開によるエリア拡大を目的とした更なる営業所展開の推進

実施体制

- ・ 業務改革プロジェクトを発足し、本社及び子会社のメンバーを含めた組織横断的な体制で改革を推進
- ・ グループ間での人材交流制度を整備し、技術・営業・管理の各分野でのナレッジシェアと育成を促進
- ・ 経営幹部候補のポジションを設定し、グループ横断でのリーダー育成プログラムを実施（3年以内の異動・研修計画など）

売上高100億円実現目標とグループ体制

大川技研グループは、非破壊検査、防錆塗装、製缶・管工事などを主力事業とする「株式会社大川技研」を親会社とした、8社で構成される企業グループです。大川技研は近年、積極的なM&Aを通じて事業領域と技術力を拡大し、多様な顧客ニーズに応える体制を築いてきました。

M&Aによる買収後は、親会社の経営資源やノウハウを活用した経営改善に取り組み、どの企業も買収後数年以内に売上・利益の大幅な改善を果たしています。また、後継者不在などで廃業の危機に直面していた企業をM&Aにより子会社化することで、技術の承継と雇用の維持を実現し、地域経済の活性化にも貢献しています。

中小企業同士によるM&Aによって、グループ全体をここまで成長させ、シナジーを実現している例は他に類を見ません。グループとして今後さらなるシナジーを発揮し、売上高100億円を達成することで、中小企業M&Aの成功モデルとして成果を広く示していくことを目指しています。

